

# ささえあい

—2016年 7月号—

P2 薬剤師の訪問業務のご案内

P3 GBGB2016に参加して

P4～5 ご存じですか？老人福祉センター

P6 訪問看護ステーションからひと言⑦

P7 連載 終の棲家 (10)

P8 訪問診療の現場から その⑩

発行 NPO法人前橋・在宅ケアネットワークの会

〒371-0037 前橋市上小出町2丁目-4 2-5 斎藤浩様方

TEL 027-235-6283 FAX 027-235-6284 Email: info@npo-sasaeai.net 郵便振替口座 00150-2-155119

本紙は高齢者の住みよい街づくりを願い、医療・介護の従事者、関心ある市民にむけ4回、毎月2000部発行しています。趣旨にご賛同の方はぜひご入会をお願い致します。



写真 岩内省三氏

## ■ご挨拶

薬局・薬剤師も地域包括ケアの

一翼を担いたいと考えています

上細井調剤薬局薬剤師 小林香織



この度は薬局薬剤師の発言の機会を頂き、有難うございます。今年度より「かかりつけ薬剤師指導料」という項目が設けられた事はご存知かと思えます。ひとりの薬剤師をかかりつけに指名する事で、特に高齢者のお薬の重複投与や相互作用の発見、残薬管理などを期待した制度で、従来の「門前薬局」といわれた薬局の在り方から「かかりつけ薬局」への転換が図られているようです。

私は9年前にケアマネジャーの資格をとりました。その時の受講者約200名の内、薬剤師は2名。他業種の方々は薬剤師が一体どんなケアの仕事をしてくれるのか、何を頼めばよいのか全くご存知ない状況でした。

薬剤師のアピール下手と在宅医療に薬剤師はもっと積極的に関与しなければと、強く感じました。

それから10年が経過。いま薬局では医師からの患者宅への訪問指導の依頼、施設からの残薬管理や飲み合わせの相談などが増えています。薬剤師全体の意識も変化を遂げたと思います。(次頁で訪問業務を紹介)

今後とも薬にまつわる問題、悩み事などなんでもご相談頂けますよう、宜しくお願い致します。

# 薬剤師の在宅訪問業務の紹介

## 在宅療養での服薬困難、お悩みに対応しています

薬剤師が在宅訪問を始めるきっかけは医師からの依頼で始まることが多いのですが、最近では多職種(ケアマネや訪問看護師)との関わりや地域包括支援センターからの問い合わせから行うケースも増えていきます。

患者様はあまり口に出しませんがお薬の管理に困っていることが多く、年齢が進むに従い、薬局まで取りに行けない、複数の医療機関からのお薬に理解が混乱している、飲み忘れ、飲み合わせなど心配なケースがよくみられます。

### ■そんな時は薬剤師の在宅訪問

薬剤師が在宅訪問を行う対象の方は、自宅や施設で療養されていて通院ができない方で、医師の依頼(指示)と判断に基づき、より効果的な服薬の援助をさせていただいています。その際に注目する点は、身体の状態に応じた調剤となっているか(一包化、錠剤の粉碎、簡易懸濁が必要か…)などを判断します。またお薬が正しく管理されているかどうかも見

し(朝・昼・夜、曜日別などのお薬カレンダー、日めくり)などの方法も提案させていただきます。

患者様が薬を飲まなくなる理由とそれへの対応策を表にしてみました。

薬を飲まない(飲めない)理由	対応策
① 残薬や併用薬が多くなりすぎて整理がつかなくなったため、飲めない。	残薬を重複や相互作用、併用禁忌などに留意しながら整理する。
② 何の薬か理解していないため、飲まない。	薬効を理解できるまで説明。またその理解を助けるための服薬支援する。
③ 薬の副作用が怖いため、飲まない。	副作用について、恐怖心をとりつつ対応策を話し合い、納得して服薬できるようにする。
④ 特に体調が悪くないため、飲まない。(自己調節)	基本的な病識や薬識を再度説明し、服用意義を理解していただく。
⑤ 錠剤、カプセル、粉薬が飲めない。(剤形錠の理由)	患者ごとの適切な服用形態の選択と医師への提案。粉碎、嚥下ゼリー、オブラート、簡易懸濁法などの導入を提案。

介護スタッフから依頼があった場合は、介護保険を利用して薬剤師の訪問となります。介護保険の場合は、重要事項説明書・契約書を作成し、利用者の同意が必要です。(医療保険

の場合は書面の必要なし)

いずれの場合も訪問した後、医師、ケアマネジャーなど依頼元に報告書を提出します。必要に応じて連携を図ります。介護保険の場合はケアマネジャーにケアプランへの記載を依頼します。

### ■薬剤師の在宅訪問の料金は？

患者様が要介護認定を受けている場合、介護保険を優先したサービス提供となるため、訪問に関わる部分は介護保険、その他、薬の調剤などについては医療保険で計算しますの

で料金は少し複雑です。

◎介護保険の場合…居宅療養管理指導費(1割または2割負担)  
一人の方に訪問する場合は503円  
または1006円。(同一建物居住者2人以上に訪問する場合は352円または704円)

◎医療保険の場合…在宅患者訪問薬剤管理指導費(1割く3割負担)

一人の方に訪問する場合650円く1950円(同一建物居住者2人以上に訪問する場合3000円く9000円)です。詳しくは薬局にお問い合わせ下さい。

薬剤師 小林香織

生きていく  
あなたに、  
安心の5つ星を。

生きるための保険。

みらいのカタチ 5つ星

継続サポート3大疾病保障保険付プラン

継続サポート3大疾病保障保険は「死亡保障を抑え、がん・急性心筋梗塞・脳卒中に重点的に備える保険」です!

**日本生命**  
NISSAI

日本生命保険相互会社 群馬支社 前橋中央営業部  
〒371-0855 前橋市問屋町1-10-6HSビル1F  
Tel.027-252-0175 012-H27-081

Asahi SOFT DRINKS

飲まれつつけている理由があります。

<三ツ矢サイダーの約束>

- ① 磨かれた水をつかう。
- ② 果実由来の香りをいかに。
- ③ 非加熱製法。

三ツ矢サイダーは保存料を一切使っておりません

アサヒ飲料株式会社 〇のたまごはひびく

ココロが欲しがら。三ツ矢サイダー

6月25日(土)にグリーンドーム前橋を会場に行われたGBGB2016に実行委員会のメンバーとして参加しました。

この企画は2012年より、ロックバンドROGUEの復活と同時に始まったライブイベントで「バリアフリーの社会づくり」促進を目的として開催され、今年度は第4回目となったものです。多くのアーティストがバリアフリーの社会づくりに賛同出演し、障がい者を無料招待するとともに、収益金をもとに福祉車両を行政に寄付し、障がいのある方がもっともつと外出できる環境をつくるためシユアして活用することができ

福祉の話題

ロックライブ GBGB2016に参加して

ささえあい編集委員 三森 和也



今回の前橋市と伊勢崎市に寄付され、6月27日には前橋市役所でも贈呈式が行われ、計6台が使用されることとなります。また、これまでの障がい者(身体・知的・精神障害)招待に加え、障がい者もボランティアとして参加し、一緒にライブイベントの運営を実践する場も大切なことと考え参加者を募ったところ、県内の障がい者施設(館林市・愛光園と前橋市・第二福祉作業所)よりご参加いただき、資料配布やリサイクルステーションの管理を一緒に手伝っていただきました。



9000人の来場者を迎えるのに、初めてのことで不安もありましたが、楽しくかつ真剣に運営ができて良かったと思います。

今回、障がい者ボランティアの担当となり健常者も障がい者も一体となって運営に参加できたことは物心ともにバリアフリー社会の実現に向け貴重な機会となったと感じました。

ご協力いただきました群馬県身体障害者福祉団体連合会様に大変お世話になったこともあわせて報告させていただきます。詳細は信誠会ホームページをご覧ください。有難うございました。(ケアマネ、市議)

**■前橋在宅ケアネットワークの会では**  
街中の活性化と市民の健康づくりをかねて「街中ウォーキングステーション」を開設めざして努力中です。  
**7月31日(日)朝、ウォーキング会を行います。**  
お気軽にご参加下さい。当日現地集合、参加費無料

**ご案内**

**7月ウォーキング会のご案内**  
みんなで歩こう街なかウォーキング

日時:7月31日(日) AM:8:00~11:00 (雨天中止)  
集合場所:前橋市千代田町銀座通り  
スズランデパート正面 羽生田眼科 跡地  
(前橋市民健康クラブウォーキングステーション)

※水分補給のための水筒等をご持参ください。

8:00~集合  
9:00~街なかウォーキング2~3km  
10:00~活動量計の説明と健康ウォーキングの勉強会  
(講師:東前橋整形外科 釜谷医師)

集合場所

大切にしたいのは  の出会いです

新時代の医療・福祉施設のニーズに応えて、ご利用者を見つめた総合サービスを追及します。

-事業内容-

- 寝具類の賃貸借及び洗濯・白衣・カーテンリース・総合リネンサービス
- 医療・福祉関連の業務用品、設備機器の販売・リース
- 売店経営、各種業務代行、衛生環境管理サービス ほか

**ワタキューセイモア株式会社**  
北関東営業所

群馬県太田市藤阿久 749-7 〒373-0034  
電話 0276-20-6500 FAX 0276-31-0333

健康と快適の明日を考える  
**WATAKYU SEIMOA**



老人福祉センターは、高齢者の方々に健康で生きがいのある生活を送っていただくため、暮らしや健康の相談に応じたり、健康の増進、教養の向上、そしてレクリエーションの機会を提供する施設です。

前橋市内には「しきしま」、「おおとも」、「ひろせ」、「かすかわ」、「ふじみ」の5つの老人福祉センターがあり、前橋市社会福祉協議会が市か

使用料。		市内。		市外。
		個人。	団体。 (15名以上)。	
区 分。	65歳以上。	無料。		200円。
	60歳～64歳。	100円。	90円。	
一 般。	16歳～59歳。	150円。	130円。	300円。
子ども。	4歳～15歳。	100円。	90円。	200円。

**高齢者だけの施設…ではありません  
子どもから大人まで誰でもご利用いただけます**

老人福祉センターでは高齢者の健康づくり、介護予防の普及・啓発に積極的に取り組んでいます。その一部を紹介いたします。

**■ピンシャン！元気体操**

ストレッチ体操や筋力強化の運動として「ピンシャン！元気体操教室」、口腔機能の改善を目的とした「お口アップ体操」を行っています。

**どんなサービスがあるの？**

老人福祉センターは名前に「老人」という文字が入っていますが、高齢者専用の施設ではありません。どなたでもご利用できます。ただしお住まいが前橋市内か市外か、年齢によって定められた使用料のお支払いが必要となります。

なお市内在住の65歳以上の方であれば無料（無料券発行）でご利用できます。

**■機能回復（リハビリテーション）**

理学療法士、作業療法士による心身の機能回復を図る訓練を無料で受けられます（要予約）。また、エアロバイク、起立台などさまざまな健康器具をご用意しており、ご自分の体力にあわせ、使用できます。お気軽にお立ち寄り下さい。

**■健康相談**

看護師が血圧測定や健康や介護予防等に関する相談を行っています。それぞれの心身の状態に合わせて助言や支援を行い、正しい知識の提供や指導を行うことで、病気に対する不安を解消し、医療機関への受診を促すなど適切な対応に努めています。

# ご存じですか？老人福祉センター

前橋市しきしま老人福祉センター 所長 松村 香

皆さまは市内の老人福祉センターをご利用になったことがあるだろうか。気軽に快適にそして安価に入浴ができ、希望者には健康相談、ピンシャン体操の指導はじめ幅広いサービスがある。そこでどんなサービスがあるのか松村所長さんに伺ってみました。

**■健康教育**

看護師による健康相談や介護予防、認知症予防等に関するさまざまな講話を行っています。正しい情報をわかりやすくお伝えし、健康意識、介護予防意識の向上に努めています。

毎日開催し、音楽に合わせて楽しく運動しながら介護予防、体力の維持向上に努めています。また各老人福祉センターで趣向を凝らした体操も実施し介護予防に効果を発揮しています。

趣味を生かして、ふれあいの輪が広がります。老人福祉センターは「生きがいのある余暇づくり」のお手伝いをしています。沢山の方が、無理

趣味を生かして、ふれあいの輪が広がります。老人福祉センターは「生きがいのある余暇づくり」のお手伝いをしています。沢山の方が、無理

■健康機器  
ローラーベッド、ローライイス、電位治療器等がご利用になれます。  
**盛りだくさんの催しや教室**  
劇団や歌謡ショーなどの催し物や健康に関する教室、趣味やレクリエーションに関する教室なども開催しています。また、小さなお子さんと保護者を対象としたリラククスサロンなどの教室も行っており、世代を超えた微笑ましい交流の場にもなっています。



ビンシャン！元気体操



看護師による健康相談



理学療法士による指導、機能訓練



電位治療器をご利用の様子

サロンなど、団体でご利用になりたい場合は、巡回バスとは別に「団体専用バス」で送迎いたします。  
\* 住み慣れた地域で、いきいきといつまでも元気で暮らし続けることができるよう、心とからだの健康づくりに、ぜひ「高齢者の若返りの場・いきがいあふれる憩いの場、老人福祉センター」をご活用下さい。



クラブ活動の様子



文化祭ステージでの発表

巡回バスを運行しております。バスの停車場が決まっていますので、詳しくは最寄りの老人福祉センターへお問い合わせ下さい。また、ご近所の方々や地域の

なく自分にあつた活動をしなが、仲間との交流を楽しんでいます。活動の内容は、社交ダンス、太極拳、健康体操、卓球などの運動系のクラブ活動から、歌謡曲、陶芸、パソコン、絵手紙、押し花、水彩画、ハーモニカ、などの文化系のクラブ活動までさまざまです。年1回、日頃の活動の成果を発表

する文化祭があり、皆さん、いきいきと活動しています。なお、自主クラブ活動は、種目や活動時間が老人福祉センターにより異なりますので、お問い合わせ下さい。  
**巡回バスをご利用下さい**  
老人福祉センターでは、交通手段のない方にも利用いただけるよう、月曜日から土曜日の開館日に無料の巡回バスを運行しております。



町の中の停留所



名称	住所	TEL
ししま老人福祉センター	荒牧町 1154-1	027-233-2121
ひろせ老人福祉センター	広瀬町 2-16	027-261-0880
おおとも老人福祉センター	大友町 1-12-10	027-252-3077
かすかわ老人福祉センター	粕川町前皆戸 189-1	027-285-3801
ふじみ老人福祉センター	富士見町田島 866-1	027-288-6113

■訪問看護ステーションからひと言 ①

# 訪問看護の開設から携わって学んだこと

訪問看護ステーション 結の樹 (ゆいのき)

管理者 吉澤 美保



訪問看護ステーションを立ち上げて2年弱が経過しました。この間、私は多くのことを学び経験しました。開設当初は戸惑いの連続でした。

《開設前に学んだこと》

開設の準備段階として「訪問看護研修ステップ1」の研修会に出席。約3カ月の座学と現場見学を行いました。座学では訪問看護介入までの流れや介護保険の仕組みについて学び、また、リハスタッフによる呼吸リハの基礎知識と手技等を教えて頂きました。その時始めて、自宅でもリハビリテーションが出来るということを知りました。現場見学では実

際に訪問同行し、利用者に係ること、訪問看護とは何か？が少しずつ分かってきました。

既に事業を展開している訪問看護ステーションへ見学にも行きました。ここでは現場で活用できる技術と知識を学び、特に自宅にあるものを有効活用して処置を行う技術やサービス担当者会議等で他の事業者と連携をとる方法を学びました。

また実際に在宅での点滴の手技や処置等の体験をしました。

### 《Aさんに出会って学んだこと》

少しづつ慣れてきた頃、A様の訪問が開始されました。A様は大腸癌にて人工肛門造設中で、息子さんと2人暮らし、日中は独居生活でした。



訪問開始当初は、A様の身体状況の観察やストーマの処置などを行い、看護アドバイスも実施していました。ある日、A様が「何がだか分からないよ。何回も、うるさいよ」と憤慨される場面がありました。

あまりにも急な出来事だったため、直ぐには対応できず、少しの間、

黙ってしまいました。いくらか時間が流れ、A様は落ち着きを取り戻し、その日は訪問を終りました。

その後、A様の気持ちを振り返ってみました。A様の望まれていること、それは、看護技術のみを提供するスタッフと会話をするのではなく、自身の悩みや不安も聴いてもらえるスタッフと会話することだったのだと気が付きました。

その時の私は、看護師の目線から必要な看護を提供していくことが望ましいと考えていたため、A様の心に寄り添う重要性に気が付いていませんでした。この出来事をきっかけに「今、重要なことは何だろうか？」を常に考えながら利用者様とも接することが出来るようになりました。それからA様から叱咤激励を頂きながらも、時には「人生とは何か？」を笑いながらお話ししたりと、A様との距離が近くなったように感じました。

### 《心に寄り添うということ》

開設当時のことを振り返ると、A様から学んだことは、同じ内容の話をしているも受け取る側によって捉え方が違うため、個々に合わせた話

し方や看護の説明を行い、看護の目線だけではなく、その方の全体像を知ることが大切だということを実感したのだと思います。

今後も利用者様の「できる限り自宅で過ごしたい」という思いに寄り添いながら看護を提供できるように、日々努力してゆきたいと思えます。

また、主治医やケアマネ、ヘルパー、リハビリスタッフ等他部門との連携も大切にしてゆきたいと考えます。

(次回のひと言募集中。ご投稿を)



私たちが大和ハウス工業は1955年に誕生しました。夢ある社会を目指し、皆様に支えられ本年創業60周年を迎えます。これからも、「共に創る。共に生きる。」を胸にお客様と心をつなぎ、新しい未来を創造し超高齢社会に対応した土地活用をご提案致します。



大和ハウス工業株式会社 群馬支社 東前橋営業所  
前橋市天川大島町3-23-5 D'クレーレ107 〒379-2154  
Tel 027-289-6875 Fax 027-289-0138  
建設業許可番号 国土交通大臣許可 (特-22) 第5279号  
宅地建物取引業者免許番号 国土交通大臣 (14) 第245号

連載 終の棲家

文・画 小泉洋一

我が家で (10)



医療、介護施設での対応とされてきたものが、地域へ、そして自宅への仕組みが着実に進んでいる。高齢者に優しい住まいづくりを提唱してきた一人として、目標が概ね達成したかに見える現状を改めて問われることとなったのかな、と今、思っている。

新築住宅は、かなり細部まで技術的な数値規制があり、設計思想も環境に配慮、そしてバリアフリーはごく当然のこととして施工されているため安全で安心の住まいづくりがされていることを設計審査や現場検査で体験している。

ただし、我が家のように大半は、築後数十年の住まいに暮らしており、模様替えや小破修繕などを行っている

るものの、たった1センチの段差をなくす工事や廊下や手すりの設置などの更なるバリアフリー対策については、今後の人生の長さを推し量ってみたり、費用などから「慣れる」ことでカバーしてしまおうと思っ



住宅の事故は、台所、浴室、階段、居間などから洗面トイレ、バルコニー、開口部などいたるところで発生している。

内容は、火傷、切傷や溺水そして転落、転倒による骨折などであり、年齢的には幼児から高齢者まで幅広

く、労災や交通事故とよく比較されるほどの件数と言われる。

因みに、平成21年人口動態調査の交通事故死は7309人、家庭内事故死は1万2873人と公表されている。

特に高齢者に要注意の箇所としては、階段、玄関、浴室出入口などの段差の箇所であるが、居間や玄関先などに敷かれたカーペット、マットに躓いた例や電気コードや座布団、何気なく置いた小物類、雑貨類などに因って転倒する例などがある。また、脚立や椅子などを使わないと届かない戸棚類は転落、転倒の原因となる。

以前、思わぬ転倒で1か月ほど歩行補助具での病院生活を強いられたが、環境が変わるとどれほど精神と身体に影響がでるか、自宅での日常生活が如何にありがたいか、人は、転ぶことで人生を早めるのかな、と感じたことがある。

自戒を込めてであるが捨てられるものは思い切って処分する事が転倒防止の第一と思つて実行している。

(元県住宅課長、現(福)常務理)

人が価値を創り 人に価値を提供する



株式会社 石井設計

代表取締役 石井 繁 紀

〒371-0023

群馬県前橋市本町一丁目1番3号AMD本町2F

TEL 027-221-1717(代表)

医療、福祉系の  
物件探しは!

株式会社 藤田ビジネスプロモーター

検索

前橋市問屋町1-1-1 Tel.027-251-4455(代)

戸建からレジデンス ペットとくらす	大小店舗オフィス 倉庫工場	個人から法人	不動産有効活用
アパマン	店舗   事務所	建物   土地	不動産活用

■訪問診療の現場から その10

終末期と死に備えるために

中田 裕一（理事長・医師）

最近では施設での在宅診療が増えて  
います。地域のかかりつけ医として、  
当該地域にある施設からの主治医担  
当や協力医の依頼に、できるだけお  
応えしているためもあります。

施設には多種多様な定義があり、  
とてもそのすべてを理解できません。  
現在、私が関わっているのは、介護  
付有料老人ホーム、住宅型有料老人  
ホーム（訪問看護ステーション併設）、  
サービス付高齢者向け住宅（訪問看  
護ステーション併設と未併設）、認  
知症グループホーム併設の小規模多  
機能型居宅介護施設、短期入所生活  
介護施設です。これらの施設入所中  
の患者さんが施設内で受けられる医  
療は、いわゆる在宅でのそれとは異  
なり、何らかの制限や実施するのは  
現実に困難なことが多々あります。

\*

例えば連日の点滴や痰の吸引の実  
施、褥瘡予防・治療のための体圧分  
散寝具の利用などはこれら特定の施  
設では行えません。ですから単純な

脱水症や軽度の感染症を施設内で治  
療する程度で、入院を回避すること  
は困難ですし、ましてや看取りまで  
はなかなかたどり着けません。患者  
さんは大抵初診であり、遠方の家族  
も含めて過去の関係性が乏しいこと  
が多く、急変時や終末期の対応につ  
いての話し合いも困難です。施設内  
で治療可能な病状でも、看取るしか  
ない病状でも、とにかく入院させざ  
るを得ないことが度々です。

\*

そのようなことで、入院した3人  
の患者さんが、医療ケアの充実した  
別の施設に相次いで入所し、再び私  
のところを紹介されてきました。お  
一人は脳血管障害で片麻痺の患者さ  
んでしたが、入院を機に食べられな  
くなり、中心静脈栄養（TPN）の  
まま速やかに施設入所となりました。  
まもなくカテーテル感染を発症しT  
PNを一旦中止しましたが、家族は  
実は胃瘻経腸栄養（PEG）を含め  
て延命を望んでおらず、そのまま未

梢輸液（PPN）でお看取りの方針  
となりました。TPNは理論的には  
延命治療になりえますが、施設医療  
で管理するのは困難です。あとのお  
二人は重度の認知症ですが、一人は  
TPNの点滴を本人にいじられない  
ように、苦心が必要な状況でした。  
あとのお一人は、認知症は重度です  
が意識はあり、経鼻胃管からの経腸  
栄養はしのびない状況でした。  
お二人とも少なからず苦痛は感  
じているわけで、その設定には疑問  
を感じました。

\*

老化や認知症で口から本当に食べ  
られなくなれば、それが寿命である  
ことは一つの真実です。医療者にと  
っては当たり前の理解ですし、四十  
年前までは一般市民もその理解であ  
ったと思います。医学は確かに進歩  
しましたが、理解が及びにくい遠い  
存在になってしまいました。よく解  
らないが、やれる治療があるならと  
りあえずやってみたら死ぬことは  
ないだろう、という考え方が主流に  
なってしまうようです。

医療者も、やれることでもしない  
ほうが良いことがあることを、時間  
をかけて説明する時間的な余裕が失  
われている印象です。

人間は誰でもいずれ必ず亡くなる  
わけですが、ピンピンコロリという  
夢を口にするだけで、多くのそうで  
ない場合に自分がどのように死んで  
いくのか、具体的にイメージできて  
いません。

事前指示書というものがありま  
す。意思表示も困難な終末期におけ  
る、自分への医療行為の範囲を表記  
したのですが、ぜひ皆さんお書き  
になって下さい。その作業が自分の  
死、人間の死というものを考えるこ  
とそのものになります。

患者さんとの、ある意味悲しい再  
会が立て続き、こんなことを考えさ  
せられました。

食べたいときに、  
すぐおいしい。

**食宅便**

お電話でのご注文はこちら

ハイショク サンキュー

☎ **0120-8149-39**

受付時間 9:00~20:00

ヘルスケアフードの明日を考える  
**日清医療食品株式会社**